

全体振り返り(区全域計画+地区別計画)

第5期計画の区全域計画・地区別計画を総合した進捗状況を把握するため、今後実施する「磯子区民意識調査」等で、次の評価指標の現状値が、目標値に対してどのように変化したかを確認します。

令和8年度に区民意識調査(予定)を実施し、その後も同じ指標で調査することにより、経年変化がわかるようにします。

指標	目標	把握方法	目標値
相互理解が進んでいる割合	I	区民意識調査など	R8年度調査より上昇
地域に愛着を持っている人の割合	I	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
地域活動に参加している人の割合	II	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
主観的な健康状態	II	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
困ったときに地域で相談したり助けあったりする人の割合	III	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
地域とNPO法人、企業などが連携した取組の実施数	III	区社協把握数	R8年度より上昇



区民一人ひとりと地域の皆さん、区役所・区社協・ケアプラザなどの公的機関がそれぞれできることを取り組んだ結果、基本目標にどれだけ近づいたか調査して、共有するよ!

4章 資料編

(1) 策定の経過

		区計画	地区別計画
令和6年度	6月～10月	グループインタビュー (高齢・子ども・健康づくり・障害者等の分野別団体:12団体、9地区計179名参加) ボランティアグループ・当事者団体アンケート:29団体 広報よこはま磯子区版での区民アンケート:179名	
	7月	策定・推進検討会(第1回) 【策定の進め方の共有】	
	10月	策定・推進検討会(第2回) 【第4期計画振り返り結果の共有・第5期計画 骨子(たたき台)の検討】	
	2月	策定・推進検討会(第3回) 【第5期計画 素案の方向性の検討】	
	2月～3月		キックオフ会議
	令和7年度	5月	地区別計画策定に向けた座談会
6月～			ワークショップ
7月		策定・推進検討会(第4回) 【第5期計画 素案(たたき台)の検討】	
10月		策定・推進検討会(第5回) 【第5期計画 素案の検討】	
11月		区民意見募集	
12月			地区別計画確定
2月		策定・推進検討会(第6回) 【区民意見募集を踏まえた第5期計画(案)の検討】	
3月		第5期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」確定	

●区民意見募集

実施期間:令和7年11月1～30日(ご意見総数:44件)
いただいたご意見は、計画に反映したほか、関係部署・機関・団体と共有しました。



ワークショップの様子

学識経験者	愛知東邦大学	教授	西尾 敦史
各種団体	磯子区医師会	会長	箕原 豊(R6) 小野 慎也(R7)
	磯子区歯科医師会	理事 副会長	坂本 瑤子(R7) 坂田 信明(R7)
	磯子区薬剤師会	副会長	熊野 孝志(R7)
	磯子区社会福祉協議会当事者団体部会	部会長	上杉 惇
	磯子区スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	吉田 千春
	磯子区青少年指導員協議会	会長	中山 真一
	磯子区障害児者地域訓練会 さつき会	副会長	森 佳代子
	NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク	理事長	坂本 寿子
	磯子区保健活動推進委員会	副会長	石川 悦代(R6) 栗本 由佳子(R7)
	磯子区民生委員児童委員協議会	会長	屋代 昭治
	磯子区シニアクラブ連合会	副会長	服部 元彦
磯子区民生委員児童委員協議会(主任児童委員連絡会)	代表	今井 裕子	
地区代表	根岸地区連合町内会	会長	石川 康雄
	ハッピー根岸推進委員会	代表	須川 さよ子
	滝頭地区連合町内会	会長	柏木 達義
	スイッチON磯子滝頭地区推進委員会	事務局長	古知屋 多恵子
	岡村地区連合町内会	会長	宮澤 章
	岡村地区スイッチON磯子推進委員会	事務局長	釣井 清(R6) 間宮 繁喜(R7)
	磯子地区福祉保健計画推進委員会	会長 副会長	山口 茂美 内藤 満
	汐見台自治会連合会	会長	岡 道子
	スイッチON磯子汐見台地区推進委員会	副会長	押山 佐和子
	屏風ヶ浦地区連合町内会	副会長	笠原 静江
	スイッチON磯子屏風ヶ浦地区推進委員会	副会長	土屋 東
	磯子区連合町内会長会 杉田地区連合町内会	会長	須田 幸雄
	スイッチON磯子杉田地区推進委員会	会長	久保 雅己
	上笹下連合自治町内会	会長	金子 光則
	スイッチON磯子上笹下地区推進協議会	副会長	大蔵 一真
洋光台連合自治町内会	会長	森野 勇	
スイッチON洋光台推進協議会	事務局長	武内 喜久夫	

関係団体へのインタビューとアンケートを元に、策定・推進検討会で第5期計画の基本目標を決定しました。

基本目標 I

「お互いを認めあい自分らしく暮らせるまち」

振り返りインタビュー・アンケートの主な内容

- 地域イベントに参加してもらうことで、お互いを知ることができ、つながることができた。
- お互いを知りあう環境づくりをしたい。 ●地域とのつながりが弱いと感じる。
- 子育て世代が地域とどうつながっていいかわからない人が多い。
- 外国人とのつながりづくりについて今後も検討していきたい。

策定・推進検討会での意見

- 小さなつながりでもよい。気にかけて、知り、認めあうことが大切。 ●知ることは相手の状況などを理解することが必要。

第5期計画の方向性

一人ひとりがお互いの状況を理解し、認めあうことで、自分らしく暮らせる地域になることをめざします。

基本目標 II

「つながりを通して健やかに暮らせるまち」

振り返りインタビュー・アンケートの主な内容

- 地域の情報が入手しづらく、あとで「こんなことがあったのか」と知ることがある。
- 必要な人に必要な情報などが手に入るネットワークができているとよい。
- 地域活動は、一緒に外出する仲間づくりや社会貢献、自分と社会のつながりにもなり、心も体も元気になる。
- 得意なことを生かす等、楽しい場づくりを工夫した。 ●参加しやすい工夫をして、地域活動の参加者を増やしたい。

策定・推進検討会での意見

- 「健康」の大切さが改めて伝わるとよい。 ●地域活動の参加者を増やすため、どのようにアプローチするかが課題。

第5期計画の方向性

地域とつながることで、社会参加や生きがいとなり、いつまでも心身ともに健康に暮らせることをめざします。

基本目標 III

「共に支えあうお互いさまのまち」

振り返りインタビュー・アンケートの主な内容

- 顔見知りになるだけでなく、いざというときに見守りあう関係に発展した。
- 災害時には日常的な地域住民とのつながりが必要。
- コロナ禍で中断した活動を再開したが、担い手の高齢化による人手不足や、人が集まりにくくなっている。
- 活動を長く続けていくことは大切だが、次の担い手のことも考えていく必要がある。
- 高校生や大学生等、若い世代に活動をつないでほしい。

策定・推進検討会での意見

- 挨拶できる関係から始まり、地域の活動に参加し関係性を深めて担い手につながるのではないかと。
- 「お互いさま」という言葉は、第4期計画から引き続き残してほしい。

第5期計画の方向性

お互いを認めあい、つながりあう中で、支えあう関係性や地域活動をする人が増えていくことをめざします。

(2)用語解説

50音	用語	内容
あ	ICT (アイシーティー)	「ICT」とは「Information and Communication Technology」の略称で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。
い	インクルーシブ スポーツ	障害の有無や年齢、性別、文化的背景などに関わらず、誰もが平等に参加できるスポーツのこと。例えば、ボッチャ等。
こ	こども食堂	地域住民やNPO、企業等が、こどもが一人でも来られるように、無料または低料金でこどもたちに食事を提供する場。
さ	災害時要援護者	地震等の災害発生時に、一人で必要な情報を把握し、状況を判断することが困難な人や、安全な場所に自力で避難することが困難な人のこと。横浜市では、特に自力避難が困難と想定される対象者(要介護3以上の人、一人暮らしの高齢者等)について名簿を作成している。この名簿は、区と協定締結した自主防災組織(自治会町内会)に提供し、普段から顔の見える関係づくり等に活用されている。
さ	サロン	高齢者や障害者、子育て世代の人等、様々な住民が、身近な地域でのお茶会や趣味活動、レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流やつながりづくりを深める活動の場のこと。
せ	善意銀行	善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいる。社会福祉協議会が実施。
ふ	福祉教育	こどもから大人まで全ての人を対象とし、学校や地域でのボランティア体験・交流・出前授業等を通じて、高齢・障害等の当事者理解や身近な地域の福祉課題の理解等を進める取組。
ふ	フレイル	年齢を重ねたり、病気になったりすることで、体力や気力、認知機能等、心と体の機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高まっている状態。
に	認知症サポーター	「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しく理解することで、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動する「応援者」(自治体または企業・職域団体が実施する養成研修を受講したキャラバン・メイト等が、「認知症サポーター養成講座」を企画・開催し、講師を務める)。

(3)区全域計画の取組に係る問合せ一覧・ケアプラザの紹介

区全域計画の取組に係る問合せ(令和8年3月時点)

名称		業務内容	連絡先
区 役 所	福祉保健課	運営企画係	民生委員・児童委員の事務局 750-2411
		事業企画担当	スイッチON機子の推進 750-2442
		健康づくり係	保健活動推進員、予防接種、がん検診、 歯科保健、健康相談、栄養改善等 750-2445
	生活衛生課	食品衛生係	食品衛生関係、食品営業申請、 食中毒予防、医務・薬務関係、各種免許申請 750-2451
		環境衛生係	環境衛生営業関係(理美容、旅館等)、 建築物衛生法関係、犬の登録ペット相談、衛生害虫相談 750-2452
	高齢・障害 支援課	高齢・障害係	敬老特別乗車証、 指定難病の申請、濱ともカード、 【18歳以上身障・知的】福祉特別乗車券、 有料道路の障害者割引、福祉タクシー利用券 750-2490
		高齢者支援担当	高齢者の福祉保健に関する相談 (認知症、介護予防、成年後見制度、 介護保険外サービス等) 750-2417
		地域包括ケア推進 担当	地域包括ケアの推進 750-2417
		介護保険担当	介護保険の認定 750-2494
		障害者支援担当	障害者の福祉保健(身体障害・知的障害福祉の相 談、難病に関する相談、身体障害者手帳・愛の手帳 (療育手帳)、自立支援医療(更生医療)申請など) 750-2416
	こども家庭支援課	障害者支援担当	精神保健福祉の相談、精神障害者保健福祉手帳、 自立支援医療(精神通院医療)申請、 福祉特別乗車券(精神) 750-2455
			母子健康手帳、児童手当、医療費給付(小児慢性 特定疾病、育成医療、養育医療)、 乳幼児健診、産前産後ケア事業、 (福祉)特別乗車券(ひとり親家庭、障害児)、 福祉タクシー利用券(障害児)、 有料道路障害児割引(障害児) 750-2415
		保育所等に関すること	750-2435
		放課後児童健全育成事業(小学生の放課後の居 場所:放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ)	750-2476
		こども家庭相談(幼児期から思春期までの子育て相 談、ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談)	750-2525
母子保健(母子訪問、妊産婦・女性の健康相談、 両親教室、あかちゃん教室等)	750-2448		

名称		業務内容	連絡先	
区役所	こども家庭支援課	児童扶養手当、母子生活支援施設、ひとり親家庭の自立支援相談	750-2475	
		障害児の身体障害・知的障害福祉の相談、各種制度・サービスの相談・申請	750-2439	
	生活支援課	生活保護の相談・決定・実施 生活困窮者の相談・支援	750-2405	
	総務課	防災・危機管理、市民活動保険	750-2311	
	区政推進課	まちのルールづくり相談	750-2332	
		広報、区民相談(法律・行政・行政書士・税務)	750-2335	
	地域振興課	地域活動係	自治会町内会、商店街振興、消費生活	750-2391
		資源化推進担当	まちの美化、ごみの減量化・リサイクルの推進、フードドライブ、小型家電回収ボックス	750-2397
		区民活動支援担当	青少年育成、芸術・文化振興、読書活動推進、区民利用施設の管理・運営、子供の遊び場・はらっぱ・スポーツ広場の管理、防犯・防犯灯	750-2393
			多文化共生推進、スポーツ振興	750-2395
交通安全		750-2396		
地域力推進担当	地域のつながりづくり・課題解決の支援、コスモミーティング、地域協働推進員	750-2398		
磯子区社会福祉協議会		スイッチON磯子の推進、生活支援体制整備、地区社協支援、ボランティアセンター、福祉教育、あんしんセンター、移動情報センター等	751-0739	
地域ケアプラザ	根岸地域ケアプラザ	スイッチON磯子の推進 こどもから高齢者、障害児・者の福祉・保健に関する地域の身近な相談窓口	751-4801	
	滝頭地域ケアプラザ		750-5151	
	磯子地域ケアプラザ		758-0180	
	屏風ヶ浦地域ケアプラザ		750-5411	
	新杉田地域ケアプラザ		771-3332	
	洋光台地域ケアプラザ		832-5191	
	上笹下地域ケアプラザ		769-0240	

ケアプラザの紹介

ケアプラザは地域の福祉保健活動の拠点施設です。

